

GeoBox カスタム解像度入力 設定ガイド

本ガイドでは、GeoBox に VESA 規格外の解像度（7680x2160@30Hz、1200x7680@30Hz、7680x1200@60Hz など）の解像度入力を行うための設定方法をご紹介します。

1. はじめに

出力解像度のカスタマイズが可能なグラフィックカードを搭載した PC 等をソースとして使用する場合、GeoBox の最上位機種は、7680x2160 や 2160x7680 といった最大 8K2K または最大 2K8K の信号を入力することが可能です。GeoBox 対応機種、入力解像度は次項をご覧ください。



あらかじめ弊社 Web 上で公開している最新のファームウェアへのアップデートを行った上で、後述の手順にて実施して下さい。ファームウェアアップデート方法については各モデルの取扱説明書にて記載しております。

▼GeoBox 各モデル取扱説明書

<https://jmgs.jp/support/downloads/vns.html>

▼GeoBox ファームウェア

https://jmgs.jp/support/downloads/driver_manual/geobox_series_driver.html

※ 本ガイドでは、Nvidia のグラフィックカードを使用した例をご紹介します。Intel 等のグラフィックカードを使用する場合、4 項で紹介する手順とは異なり、INF ファイルのインストール等が必要となります。弊社では上記パターンについては動作確認が取れていないため、サポートしておりません。

2. GeoBox 対応機種/入力解像度

下表の通り、GeoBox の機種ごとに対応可能な最大入力解像度は異なります。記載の解像度は一例であり、7680x1200/30Hz の入力解像度に対応であれば、それ以下の 5760x1080 や 7680x1080 などの入力解像度にも対応します。

型番	最大入力解像度		
	7680x2160/30Hz 2160x7680/30Hz	7680x1200/60Hz 1200x7680/60Hz	7680x1200/30Hz 1200x7680/30Hz
UD100 シリーズ	○	○	○
UD101L	○	○	○
G900 シリーズ	○	○	○
S901	○	○	○
M810 シリーズ	—	○	○
M811L	—	○	○
M800 シリーズ	—	—	○
G111	—	—	○
G112	—	—	○
G116	—	—	○
G400 シリーズ	—	—	○
G800 G810 シリーズ	—	—	○

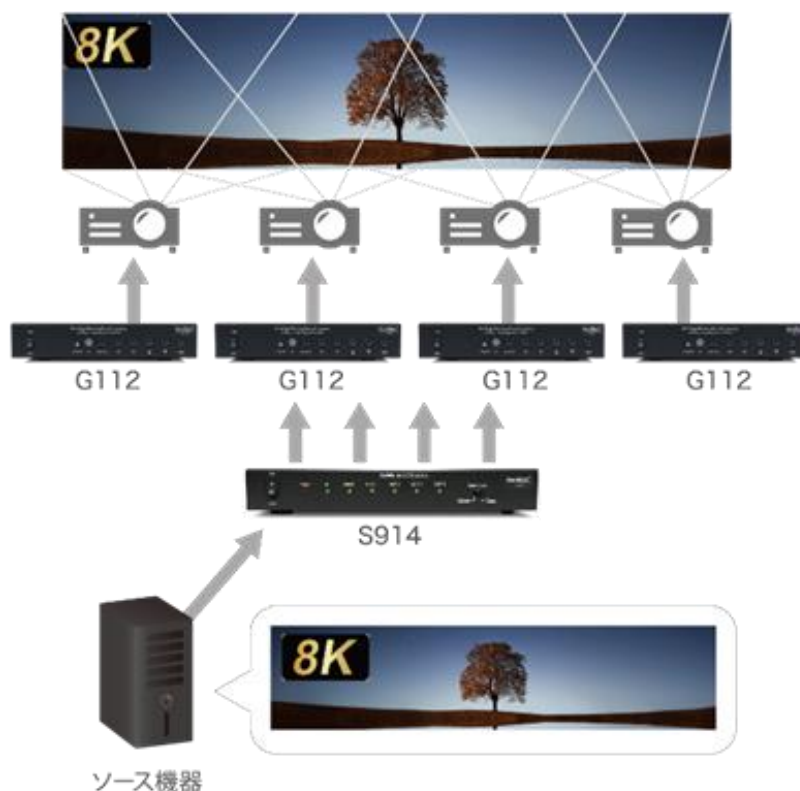
UD100 シリーズは UD101・UD102・UD103・UD104、G900 シリーズは G901J・G902・G904、M810 シリーズは M811・M812・M813・M814、M800 シリーズは M801・M802・M803・M804、G400 シリーズは G405L・G406S・G406L・G406・G408、G800 シリーズは G802・G804、G810 シリーズは G812・G814 が該当する型番です。

3. GeoBox HDMI 分配器（S914）との併用

GeoBox が 1 出力モデル（G111、G112 など）の場合は、HDMI 分配器（型番：S914）を併用することでマルチディスプレイ・マルチプロジェクションのシステムを構築することができます。

また、GeoBox がマルチ出力モデルの場合でも、S914 を併用することで HDMI ループアウト端子を使用時に発生する僅かな遅延をゼロにすることができます。

S914+G112 接続例



4. 設定手順 (※Nvidia グラフィックカード使用)

PC、GeoBox、ディスプレイ(またはプロジェクター)を接続した状態で始めます。

1. PC のデスクトップ上で右クリックし、Nvidia のコントロールパネルをクリックして開きます。
2. 左サイドのメニューから「ディスプレイ」>「解像度の変更」へ進みます。
3. 「変更するディスプレイ」は「GeoBox HDMI」を選択します。
4. 「カスタマイズ」をクリックすると、カスタム設定のポップアップ画面が出現します。
5. 「カスタム解像度の作成」をクリックし、作成画面で以下設定を行い、「テスト」を押下します。

【例】 7680x1080 入力を行う場合

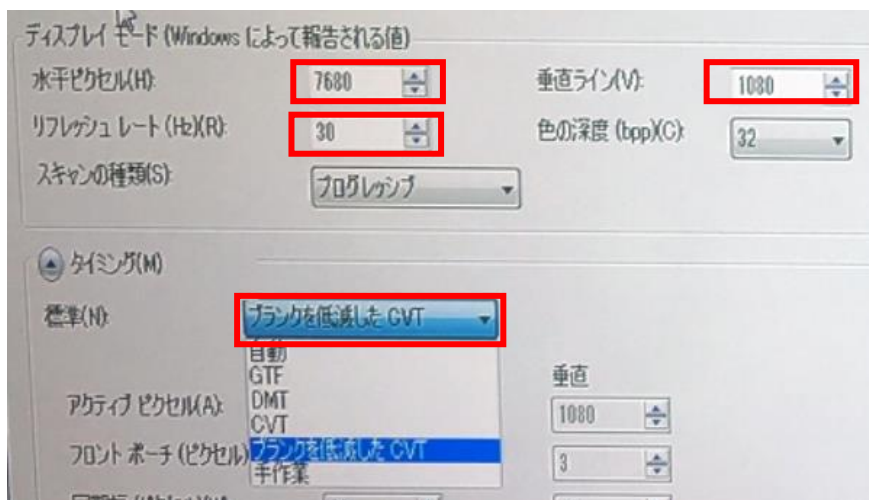
- ディスプレイモード
 - ・水平ピクセル：7680
 - ・垂直ライン：1080
 - ・リフレッシュレート：30
- タイミング

【例】 5760x1080 入力を行う場合

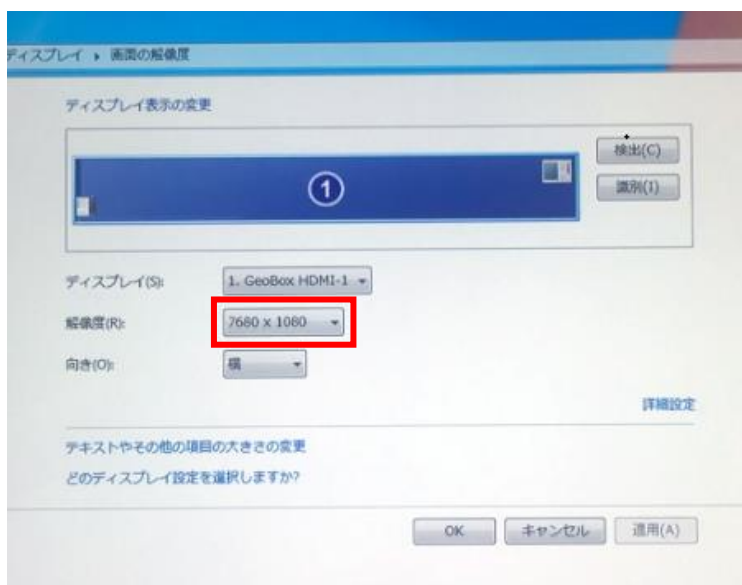
- ディスプレイモード
 - ・水平ピクセル：5760
 - ・垂直ライン：1080
 - ・リフレッシュレート：30
- タイミング

・標準：ブランクを低減した CVT

・標準：ブランクを低減した CVT

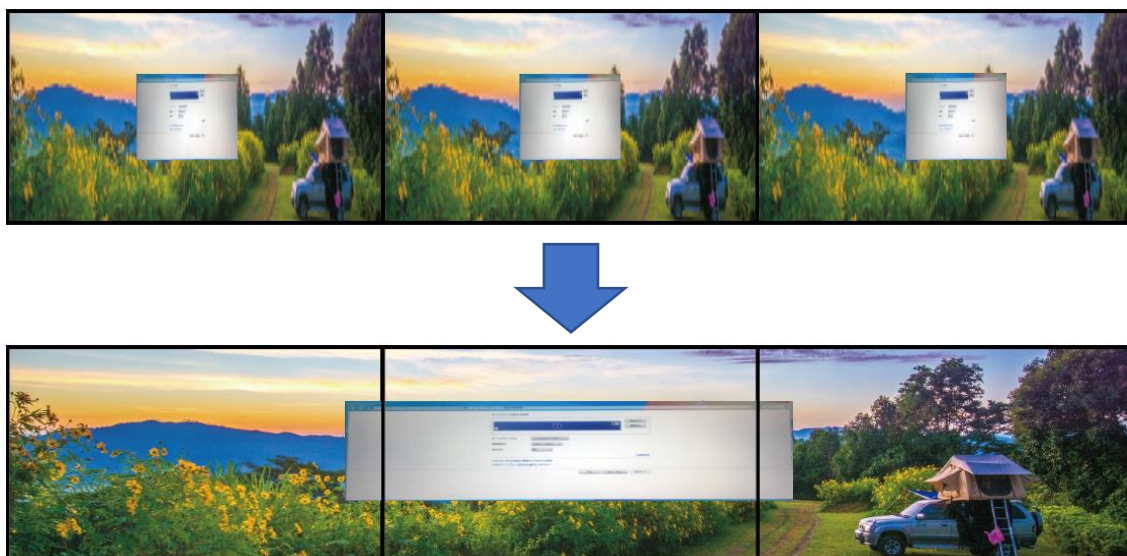


6. Nvidia グラフィックカードでのカスタム解像度適用完了後、PC の解像度設定画面を開き、先ほど追加した解像度を選択して適用します。以上で設定は完了です。



※解像度選択後、解像度の増加により画面が潰れて見辛くなり、操作がしにくくなります。

GeoBox の Video Wall 設定の「Zoom/Pan 機能」にて Horizontal(水平方向)または Vertical(垂直方向)へ、拡大表示設定を行って下さい。詳細は各モデルの取扱説明書をご参照下さい。



5. 留意点

・カスタム解像度の設定は、GeoBox で選択した入力信号と EDID 設定に紐づくため、いずれかを変更した場合に設定が失われてしまいます。予め必ず、任意の入力信号と EDID 設定を行ったうえでカスタム解像度の設定を行って下さい。(EDID は、GeoBox の OSD メニュー> Options> Setting> EDID より設定が可能です。詳しくは各機取扱説明書を参照して下さい。)

例えば、「HDMI-1」の入力信号を選択し、EDID 設定をプリセット解像度の「3840x2160」にて設定している状態で、8K 解像度の入力を行った場合、入力ソースを「HDMI-2」へ変更したり、EDID 設定を別のプリセット解像度の「1920x1080」に変更したりすると、PC からの出力信号の設定が失われ、8K 解像度ではなくなります。

※この場合、元の入力信号や、EDID 設定に戻せば 8K 解像度に戻ります。

・上記のように、入力信号や EDID 設定の変更を行わなければ、PC を再起動しても、GeoBox の電源を OFF/ON してもカスタム解像度は変わらず保持されます。

・動画の場合、スムーズな表示を行うには、H.264 および H.265 のハードウェアデコーディングに対応したディスプレイカードを選定し、コンテンツのフォーマットは H.265 に変換して下さい。

(例) Nvidia GTX 1080 / 1080Ti など

・本ガイドにてご紹介した手順は Nvidia 等、INF ファイルのインストール等の特別な調整が不要なグラフィックカードのご使用を想定しています。Intel 等、対応しないグラフィックカードを使用するケースについてはサポート対象外となりますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。